

# 駅伝 千一ム小原田大活躍!

[教育目標]

健 自 責  
康 主 任

## 小原田中だより

令和7年9月号  
郡山市立小原田中学校  
校長 関根宏房  
ホームページURL  
<https://www2.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=0720007>



九月四日(木)郡山市中学校駅伝競走大会が開催され、本校駅伝部員は、女子が二十二チーム中五位、男子が二十六チーム中七位の大活躍でした。

上位四チームが出場する県大会への出場権こそ逃しましたが、男女共に八位以内の入賞を果たした学校は、小原田中を含めて四校だけです。

女子は、二年連続の五位入賞、男子は昨年の十二位から五つ順位を上げての七位となります。

夏休みの間、暑さに体を慣らしつつ常設部との両立に尽力してきた子供たち、走り切ったあとの清々しさは格別だったのではないかと思います。

仲間とともに頑張り抜いた経験は、これからの自信となつて、自分の人生を生き抜くための大きな力となることでしょう。

# 新人チーム初陣 新人戦



九月二十五日、二十六日に市体連の新人総合大会が行われました。小原田中学校からも、二年生を中心とした新人チームが出場し、日頃の練習の成果を競いました。これまで、三年生に導かれて大会に出場していた二年生、一年生が、今度は自分たち主体で動かなければなりません。正に自分たちの番です。どことなくぎこちなさのある動きで、会場入りした選手たちでしたが、いざ試合が始まると徐々に自分たちの動きが戻ってきます。相手チームも同じ新人チーム、冷静に見てみれば、自分たち同様ぎこちなさの残る中学生です。互いにミスをしながらも、試合運びを学んでいきます。ここで感じた気持ち、自分たちの強み、弱みを知ったあとの想い、これらをしっかりと記憶して練習に取り組めば、秋、冬、春と季節を重ねる毎に成長できます。本番は来年夏の中学生連。そこに照準を合わせ、目標をもつて、地道に努力を重ね、自分たちのチームを作り上げていく、そんな取り組みが見られれば、来年の中学生連が楽しみになってきます。小原田中新チーム。

# 日本中の西田さんファンとともに



## 西田先輩に学ぶ 小原田小中合唱団

九月十三日(土)郡山市立美術館石庭を会場に行われた、ラジオ福島番組「風とロックCARAVAN福島」(土曜日13時~15時)に、小原田小学校と小原田中学校の児童生徒46名で結成された合唱団が、ゲストとして出演しました。当日は、郡山市の文化スポーツ観光部観光政策課主催の西田敏行展「愛してるぞ〜い!」の特別イベントとして、番組パーソナリティの箭内道彦さんと脚本家の宮藤官九郎さんのスペシャルトーク「ボクらにとつての西田敏行さん」とともに、西田敏行さんの代表曲を大合唱するという番組構成で、そこに合唱団が出演しました。

合唱団は、夏休み明けの土曜日(2回)、小学生との合同練習を行い、当日を迎えました。合同練習の様子は福島民報紙やFCTの週間トピックスで紹介され、ご覧になられた方もいらしたのではないかと思います。

当日、会場には千人を超える応募者の中から当選した西田さんファンが来場しました。北は北海道から南は大阪と、全国各地から集まった方々、さらには本校の「西田先輩に学ぶ」の学習でお世話になった同級生の方々の前で、「もしもピアノが弾けたなら」と「あの街に生まれて」の2曲を披露しました。

番組の中で、パーソナリティの箭内道彦さんからの「西田敏行さんの曲を、どんなことを感じながら歌いましたか?」の質問に、「すごく楽しみましたし、このようななかなか体験できない貴重なことを体験させていただき、ありがたかったです。」とほっきりと答えていた生徒の姿をみて、とても嬉しく思いました。

また、当日の状況そして翌日以降の新聞報道等から、本校生徒の先輩である西田敏行さんの偉大さを改めて感じました。

本校文化祭「友垣祭」の当日、十月十七日(金)は、ちょうど西田敏行さんが亡くなられたご命日にあたります。

文化祭のご案内には入っていませんでしたが、開始時刻よりの時間帯に、「西田先輩に学ぶ」で学んでいる全校生とともに、小原田中学校としての追悼の儀を行いたいと思います。子どもたちの登校完了時刻八時十分から友垣祭開会時刻八時三十五分の間に十分程度で行う予定となっておりますので、ご都合がよろしければ、足をお運びください。なお、友垣祭の中でも、総合的な学習の学年発表で、「西田先輩に学ぶ」の発表を行う予定となっております。

是非足をお運びいただき、子どもたちの日頃の学びの成果をご覧いただければと思います。